

自然と、あなたと、ともに未来へ。



2026年4月20日

株式会社レノバ

安来蓄電所運転開始のお知らせ

～市場運用機能を自社で内製化。大規模プロジェクトを成功へ導く運用知見の基盤を構築～

株式会社レノバ（本社：東京都中央区、代表取締役社長 CEO：木南陽介、以下「当社」）は、島根県安来市において開発を進めてまいりました「安来蓄電所」（島根県安来市・設備容量 2MW、以下「本蓄電所」）が、2026年4月17日付で運転を開始したことをお知らせいたします。

現在、国内の蓄電池市場は、再生可能エネルギーの導入拡大を背景に多種多様なプレイヤーの参入が相次いでいます。こうした環境下で当社が競争力を発揮するための鍵は、スケールメリットを活かした「大規模化によるコスト競争力」にあると考えています。

一般に、蓄電事業の大規模化には、「系統接続」「調達」「運用」「ファイナンス」という4つの要素において高い壁が存在しており、本蓄電所は、その中でも特に、市場環境に応じた最適な「蓄電池の運用戦略」を確立することを主眼に置いております。

本事業において、当社は自社蓄電池の価値を最大化する「最適運用機能」を内製化し、電力市場での応札や充放電指令等の業務を直接担います。2MWという規模の本事業を通じて、複雑な市場変動に即した高度な運用体制を自社で実証・確立することにより、90MW級の「菊川西村蓄電所」をはじめとする大規模プロジェクトの安定運営と収益最大化を支える、極めて重要な運用知見とデータを着実に積み上げてまいります。

本蓄電所の運転開始は、当社が中期経営計画に掲げる「2030年までに蓄電事業の設備容量 0.9GW」という目標達成に向けた極めて重要な一歩です。

本件を通じて蓄積する「市場販売型」*1の運用ノウハウは、現在当社が開発を進める国内最大級の「菊川蓄電所（90MW）」をはじめとする大型プロジェクトへ全面的に展開してまいります。また、本蓄電所での実証によりさらに運用の精度を高め、将来の広範な電力システムを支える次世代エネルギーインフラの基盤づくりを加速させます。

当社は、「グリーンかつ自立可能なエネルギー・システムを構築し、重要な社会的課題を解決する」というミッションのもと、今後も、再生可能エネルギーの主力電源化を支える調整機能を担い、電力システムの安定化および脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



【安来蓄電所】

■ 安来蓄電所の概要

蓄電所名	安来蓄電所
所在地	島根県安来市
設備容量	2MW
運転開始	2026年4月17日

*1 市場販売型：国による価格保証（FIT 制度等）や特定の相手との長期固定価格契約に頼らず、「需給調整市場」や「容量市場」などの市場で「調整力」や「供給力」を提供することで収益を確保する事業形態のことです。

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社レノバ 広報室

Email : press@renovainc.com